

# 礼拝プログラム

2017年8月20日

司会: 本多兄 奏楽: 大倉姉 通訳: シラ姉

前奏: Prelude

賛美: Hymn

使徒信条: \* Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈祷: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

『裁くことから解放されたい』

Seeking Freedom from Judging

聖餐式: Communion Service

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝祷: \* Benediction

\*印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままで結構です。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: マーシャル姉、ピーターズ姉

グリーター: バークスデール姉、須波姉

ナーサリー: スタンクリフ姉、奏姉

チルドレンチャーチ: 川久姉、シラ姉

セキュリティ: 畠山兄

## 来週、27日の礼拝

司会: 西井兄 奏楽: ボウト姉 通訳: 大倉姉

メッセージ: 「新しい契約を心に刻む」

賛美: LP131、聖歌355

アッシャー: ラッド姉、大野姉

グリーター: 井口姉、町田姉

ナーサリー: テリケス姉、パーク姉

チルドレンチャーチ: 美香姉、ストーン姉

セキュリティ: ストーン兄

## お知らせ

本日の礼拝後の予定

コーヒーアワー、男子会・婦人会、理事会  
大倉・ノースカウンティ教会へ

■今日の礼拝によろこそいらっしやいました。心より歓迎します。また続けておいでください。

■ただ今、バケーションバイブルスクールがもたれています。子供達が主の恵みにあずかることができますようにお祈りください。

■大倉牧師は本日、午後一時からもたれるノースカウンティ教会の礼拝にてメッセージを取り次ぎます。

■9月3日(日)ー4日(月)に Agua Caliente(スペイン語で熱い水という意味、すなわち温泉)で第11回レイバーディキャンプをもちます。興味のある方は牧師、またはカート兄までおたずねください。

■洗礼、入会をお考えの方がおりましたら牧師、執事にお声をおかけください。喜んでお手伝いをさせていただきます(その他、牧師との面会が必要な方がおりましたらお気軽にお声をおかけください)。

■修養会にて本を入手してきました。近日中に教会図書に追加されますので手に取ってお読みください(返却日をお忘れなく)。

・「ヨブ記に見る試練の意味」 河村従彦著

・「私は教会のメンバーです」 トム・レイナー著

・「明日この世を去るとしても今日の花に水をあげなさい」

・「病気は人生の夏休み」 両方とも樋野興夫著

## 今週の予定

23日(水) 水曜集会 7:30

24日(木) 木曜集会 10:30

26日(土) 母子の会 10:00

26日(日) 日語執事会

## 落着け

聖路加国際病院名誉委員長であった日野原重明師が去る7月18日、105歳の年齢で召されました。師の両親はクリスチャンで父親は米国の神学校を卒業され、帰国後に大分メソジスト教会の牧師となりました。その影響で師も七歳の時に洗礼を受け、その最期まで信仰生涯を全うしました。師は「成人病」を「生活習慣病」に言い換えることを提言し、患者参加型の医療を目指しました。以下、そんな師の言葉を並べてみました。

『鳥は飛び方を変えることは出来ない。動物は這い方、走り方を変えることは出来ない。しかし、人間は生き方を変えることが出来る』

『どんな困難に直面しても、「ここから始まるのだ」ととらえ直すことができれば、私たちはかならず前進できます』

『心の良い習慣というのは表情やしぐさにあらわれ、人の顔つきも習慣なのです』

『残された日々、まだ行ったことのないところに行ってみようという計画もあると思う。しかし何より大切なのは、生きることについて、これまで以上の「深さ」を求めることではないだろうか』

「外科手術や化学療法の発達した今日でもなお、最も大切な治療法の一つは、キリストの時代のごとく、『言葉による癒し』なのである」

「私たちの恵みを数えてみれば、どんな逆境にあったとしても、受けているものの方が、与えるものより多いことに気づく。受けた恵みをどこかで返そうと、考えたいものである」

『少し肩の力を抜いて「お上手、お上手」と自分に声をかけていきましょう』